



【ブロック支部からのお知らせ】

第11回日本プライマリ・ケア連合学会東北ブロック支部学術集会
（「東北医師会連合会総会並びに学術集会」分科会） 開催報告

2021年度の日本プライマリ・ケア連合学会東北ブロック支部学術集会は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して完全オンライン開催となりました。

東北地方はもちろん全国からも、合計 218 人の参加登録をいただきました。ご参加いただいた皆様、運営にご協力を頂いた皆様に改めて御礼を申し上げます。

大会長：葛西 龍樹（福島県立医科大学 医学部 地域・家庭医療学講座）

会場：完全オンライン開催

日時：2021年10月2日～3日（ライブ）

2021年10月2日～31日（オンデマンド）

URL <https://sites.google.com/view/jpcatohoku11/>

プログラム

<ライブセッション>

・基調講演

ローカル・アクティビストとしての「家庭医」

講師：小松理虔 先生 ヘキレキ舎 代表

座長：中山文枝 先生 社団医療法人養生会 かしま病院

・シンポジウム

「復興 10 年 頑張ってきた東北！」

座長：葛西龍樹 先生 福島県立医科大学 地域・家庭医療学講座 教授

シンポジスト：

松岡史彦 先生 六ヶ所村医療センター

下沖 収 先生 岩手医科大学救急・災害・総合医学講座総合診療医学分野

齊藤稔哲 先生 気仙沼市立本吉病院

齊藤 崇 先生 秋田県厚生連秋田厚生医療センター

峯田幸悦 先生 恩賜財団済生会支部山形県済生会、特別養護老人ホームながまち荘

石井 敦 先生 社団医療法人養生会 かしま病院

・多職種連携の New normal

座長：豊田喜弘 先生 喜多方市地域・家庭医療センター

シンポジスト

福井 謙 先生 モミの木クリニック 院長



橋本紀子 先生 居宅介護支援事業所はすのみ

大野あや子 先生 訪問看護ステーション・エフズ

・秋田・福島から「東北の」総合診療医センターへ！

司会：菅家智史 先生 福島県立医科大学 地域・家庭医療学講座

演者：

植木重治 先生 秋田大学大学院 総合診療・検査診断学講座

北村俊晴 先生 秋田大学附属病院 総合診療医センター

山中克郎 先生 福島医科大学総合医療センター センター長

菅家智史 先生 福島医科大学医学部地域・家庭医療学講座

<オンデマンドセッション>

・在宅でできる痛みの緩和ーがん性痛のコントローラー

橋本 孝太郎 先生

医療法人社団爽秋会ふくしま在宅緩和ケアクリニック 副院長

・看護師特定行為研修について

戸崎 亜紀子 先生

公益財団法人 星総合病院 法人看護部長

・メンタルにも使える漢方のキモ

三瀧 忠道 先生

福島県立医科大学会津医療センター 漢方医学講座 教授

・デスカンファレンス・在宅連携

福井 謙 先生

モミの木クリニック 院長

・Fascia pain syndrome～医師と理学療法士の連携による介入～

平山 和哉 先生

東北文化学園大学医療福祉学部 助教

・考え・感情・事実を聞き分ける情報収集法としての”事実質問”の手引き～問題となる生活習慣の探し方～

平野貴大 先生

弘前大学大学院医学研究科総合診療医学講座

認定 NPO 法人ムラのミライ

・在宅での栄養療法～子どもから高齢者まで～

塩野崎 淳子 先生

むらた日帰り外科手術クリニック 認定栄養ケア・ステーション訪問栄養サポートセンター仙台 在宅訪問管理

栄養士

・思春期の心身の健康についてー家庭医の日常診療の視点からー

武田 仁 先生

喜多方市 地域・家庭医療センター センター長

・最後まで口から食べ続けるための摂食嚥下障害ケア・食支援

原 純一 先生

きらり健康生協 上松川診療所歯科口腔外科・接触嚥下（食のリハビリテーション）治療リハ科 歯科医長

・薬剤師との付き合い方 ～薬剤師とコラボしませんか？～ プライマリ・ケア認定薬剤師とは？

松木友治 先生

株式会社コスモファーマ 薬事グループ 医療安全推進室 室長

10月2日・3日にわたって開催したライブセッションでは、特別講演、2つのシンポジウム、一つの特別企画、そして一般演題を開催いたしました。

特別講演では福島県いわき市で活躍する小松 理度 氏に「ローカル・アクティビストとしての家庭医」と題してお話いただきました。小松氏が「地元」で起きている問題を素人の立場で専門家と繋がり、おもしろがりながら行動していく取り組みをご紹介いただきました。医療者として地域の人々とどう関わるかのヒントを頂きました。

シンポジウム「復興10年 頑張ってきた東北！」では、東日本大震災から10年という節目に、東北6県それぞれの立場からどのような変化があり、これからをどのように見据えていくかをお話いただきました。

シンポジウム「多職種連携の New Normal」では、新型コロナウイルス感染症の流行で地域での多職種連携にも様々な影響が出ている中、これからの多職種連携をどのように広げていくかのヒントを頂きました。

特別企画「秋田・福島から東北の総合診療医センターへ」では、秋田大学、福島県立医科大学に設置された「総合診療医センター」の取り組みをご紹介いただき、今後東北地方での総合診療をどのように発展させるか、総合診療医センターを東北6県で活用するためにはどうするかを議論いただきました。

一般演題には主に若手の発表者から10演題が登録され、活動報告、研究・調査報告など幅広い内容での発表、議論をいただきました。

オンデマンドセッションでは、12のテーマでのオンデマンド動画を講師の皆様にご作成いただき、1ヶ月間の閲覧期間を設定いたしました。講師の皆様には30分～60分を目安に、長すぎず要点を抽出した動画作成にご協力をいただき、のべ約700回視聴いただきました。完全オンラインという形で不慣れな中、たくさんの方にご参加をいただき改めて御礼申し上げます。

第12回日本プライマリ・ケア連合学会東北ブロック支部学術集会は山形県支部が担当する予定です。新型コロナウイルス感染症の流行が収束し、会員の皆様と実際にお会いしてお話できる日を心待ちにしております。

【各県支部からのお知らせ】

第4回日本プライマリ・ケア連合学会岩手県支部研修会 開催報告

岩手県支部では去る11月28日(土)、第4回となる県支部研修会を執り行いました。コロナ禍の影響に伴い、昨年引き続き完全Web形式での開催となりました。半日という短い時間での開催ではありましたが、参加者数は40名超に及びました。

研修会は一般演題、特別講演の2部構成でした。第1部には一般演題6題が寄せられ、医師、薬剤師、医学生と多種多様の観点から岩手のプライマリ・ケアに関する発表が行われました。演題名リストは添付画像をご参照ください。いずれも興味深い内容にて、質疑応答の場面では活発な議論が交わされました。第2部は福島県立医科大学地域・家庭医療学講座の菅家智史先生より「そうだったのか！ ポートフォリオと研修指導」と題しご講演を賜りました。指導医はもちろん、当日参加した他業種の皆さんにもわかりやすい内容で、プライマリ・ケアおよび総合診療領域における「ポートフォリオとは何か」を噛み砕いていただき、かつ指導医と研修医・専攻医に関する世代考察はみなさんご興味のあるお話だったようで事後アンケートでも大変好評でした。

第4回 日本プライマリ・ケア連合学会 岩手県支部 研修会
2021年11月27日(土) 14:00-17:00

プログラム・抄録集

開会式	14:00～14:05
◆ 開会の挨拶	下沖 収 日本プライマリ・ケア連合学会 岩手県支部 支部長 岩手医科大学 教員、災害・総合臨床講座 総合診療医学分野 教授
◆ 事務連絡	単位認定のご案内 菅 啓
第1部 一般演題	14:05～15:20
1. 研修会が集まる病院の特徴は？ 東北6県についての手頃的な結果報告	菅 啓、杉山 賢明 一般社団法人 みんなの健康らぼ、東北大学大学院 医学研究科
2. 一都市内の在宅医療の発展に向けての自らの取り組み	および人生会議の啓蒙セミナーに関する活動報告 杉山 賢明(1)、神谷 達(1)、川島 実(1)、村上信輔(1) 1) 医療法人社団やすと、やすと在宅診療所(第1期) 一般社団法人 みんなの健康らぼ 2) 東北大学大学院 国際医療保健学大学院
3. 石匠比叡性難病診療科の一例	上柳 顕寿、長瀬 圭亮、小原 敬司、豊橋 亮樹 岩手県立中央病院 総合診療科
4. 東北ブロック薬剤師会の設立と今後の活動について	山田 奈穂子、藤崎 遼希、町田 和歌子 1) 岩手県立中央病院 薬剤科 2) 株式会社トライメディカル トライ薬局 3) 有限会社八口一薬局
5. 運動による健康づくりに関する矢野地域住民へのアンケート調査	大崎 悠弘、栗原 尚太、船橋 智弘、山田 昌徳、大関 夕 真一、下沖 収 1) 岩手医科大学 医学部健康科学科 2) 岩手県立中央病院 総合診療学分野 3) 岩手県立中央病院 総合診療学分野
6. 若手医の総合診療専門医/家庭医療専門医 研修プログラムについて	山田 昌徳 岩手医科大学 災害・総合臨床講座 総合診療学分野 助教 いわてイバーボーズ総合診療専門医研修プログラム ワーキンググループ代表
休憩	10分
第2部 特別講演	15:20～16:55
「そうだったのか！ ポートフォリオと研修指導」	
講師	菅家 智史 先生 福島県立医科大学 地域・家庭医療学講座 講師 福島県立医科大学 総合診療医センター
座長	下沖 収
閉会式	16:55～17:00
◆ 閉会の挨拶	坂本 和夫 日本プライマリ・ケア連合学会 岩手県支部 副支部長 岩手県立中央病院 総合診療科 院長

なお、事後アンケートの回答内容を見ますと来年度は『ハイブリッド開催』を望む声が多く聞かれました。古式ゆかしき現地集合方式の開催を求める声も多数あがりましたが、いっぽうで日常診療や子育て等で現地参加がなかなか叶わない学会員にとって Web 開催はメリットが大きいということでした(そもそも岩手県自体が四国4県に匹敵する広大な面積という背景もあります)。また、急患や急用で当日やむなく不参加となった場合でもアーカイブで参照できるという強みもあります。次年度以降の開催形式については県支部として更に検討してまいります。

きたる 2022 年は明るく実り多き 1 年と出来るよう支部を盛り上げていきたいと考えております。各県支部の皆様におかれましてはよいお年をお迎えください(文責・副支部長坂本)。

2021 年度第 1 回東北ブロック支部役員会報告

2021 年 6 月 6 日 Web 会議にて開催いたしました。

報告事項：

1. 第 10 回ブロック支部学術集会：斎藤大会長より報告
2. 福島県支部設立：葛西県支部長・菅家県支部事務局より報告
3. 各県支部報告
4. ポートフォリオ相談会・ウェルカムセミナー：菅家ブロック副支部長より報告
5. 第 11 回ブロック支部学術集会予定・進捗状況：葛西大会長より報告
6. ブロック支部会員状況：小幡ブロック支部長より報告

協議事項

1. ブロック支部薬剤師部会の設立：

2020 年 10 月より月一回薬剤師勉強会が開催され、東北ブロック支部薬剤師部会設立趣意書が提出され承認された。代議員総会でも確認するが正式に設立し活動開始とすることとした。

2. 2020 年度事業報告、2021 年度事業計画：

支部長から提案、承認された。

3. 医学生向け活動：

各県の状況共有し今後の方向性模索。

4. 2020 年度決算、2021 年度予算案：

支部長から報告提案。コロナの影響で活動の制限とほとんどが Web 化され支出が大きく下回り決算は大きく黒字となった。設立した薬剤師部会の活動費用予算化、県支部未設立県の支部助成金を活動支援金と位置づける形で予算承認された。

5. 2022 年 第 12 回ブロック支部学術集会開催：

東北医師会連合会総会に合わせた開催としているため山形県で開催として山形県支部に準備依頼。

6. ブロック支部運用のデジタル化とメーリングリスト活用：

ブロック支部の公式行事やニュースレターの配信に限定しメーリングリスト運用確認。役員会開催通知参加確認などもメール送付 Web 上でのグーグルフォームで返信で対応し紙運用終了とすることとした。

次回役員会と代議員会は学術集会が Web 開催となったことから、今年度も学術集会とは別日程とし 10 月 9 日午後開催いたします。役員・代議員の皆様のご参加ご協力をよろしくお願いいたします。

2021年6月6日の役員会において『日本プライマリ・ケア連合学会 東北ブロック支部薬剤師部会』の設立が承認されました。

薬剤師有志で薬剤師部会設立以前から月例勉強会（Zoom）を重ねてきました。勉強会は毎月1回、子育て世代の事情を考慮して21：30より1～1.5時間開催してまいりました。

内容は隔月で「症例検討等」「論文抄読会」を繰り返しています。会員の持ち込み企画でグループディスカッションをしながらのラフな勉強会です。数名の医師等他職種の方も自主的にご参加いただいています。

2020年10月16日 定例勉強会（第1回）症例検討会「パーキンソン病の処方を読み解く」

2020年11月16日 定例勉強会（第2回）論文抄読会「Remdesivir in adults with severe COVID-19: a randomised, double-blind, placebo-controlled, multicentre trial」

2020年12月21日 定例勉強会（第3回）症例検討会「ポリファーマシーを考える」

2021年1月26日 交流会（薬剤師部会設立について合意を得る）

2021年2月22日 定例勉強会（第4回）論文抄読会「Baloxavir Marboxil for Uncomplicated Influenza in Adults and Adolescents」

2021年3月22日 定例勉強会（第5回）症例検討会「何が提案できるか？考えてみよう～足が浮腫む～」

2021年4月21日 定例勉強会（第6回）論文抄読会「Safety and Efficacy of the BNT162b2 mRNA Covid-19 Vaccine」

2021年5月10日 定例勉強会（第7回）症例検討会「薬剤性アカシジアについて」

2021年6月14日 定例勉強会（第8回）論文抄読会「Experienced well-being rises with income, even above \$75,000 per year」

2021年7月12日 TPCA 薬剤師部会設立祝賀会

2021年8月16日 定例勉強会（第9回）症例検討会「新型コロナワクチン予防接種 患者の不安に応えよう」

2021年9月15日 定例勉強会（第10回）論文抄読会「Harnessing Placebo Responses to Improve Health Outcomes」

TPCA-Pは各県に2名の運営委員を置いて活動しています。ご意見ご要望をお気軽にお寄せください。

青森県：川末 真理 相馬 渉

秋田県：小林 裕幸 小林 美歩

岩手県：町田 和敏 山田 奈穂子

山形県：遠藤 東吾 星 利佳

宮城県：有馬 遥太郎（1名未定）

福島県：（2名未定）

（2021年9月現在）

【県支部活動】

岩手県支部

岩手県支部では第5回 JPCA 岩手県支部幹事会を、去る7/12に ZOOM 開催いたしました。幹事13名中、出席8名、委任状あり3名でした。

以下、議事録より抜粋いたします。

1. JPCA 東北の現況報告 : 昨年度の活動状況と今年度の活動計画などについて資料に基づき支部長より報告がありました。
2. 2020 年度会計報告 : 昨年度の事業は研修会 web 開催のみであったため、収入と支出とも小規模限定的となったことが支部長より報告されました。後日、会計監査報告書を審議し 7/29 に承認されました。
3. 2020 年度事業報告 : 第 3 回学術集會を 2020/11/7 に完全 web で開催しました。内容は一般演題と指定演題、山中克郎先生の特別講演が行われ、参加者は 59 名であったことが報告されました。
4. 2021 年度予算 : 事業計画とともに審議。昨年同様、研修会は web とすることで予算規模は昨年と同規模となることが説明され、承認されました。
5. 2021 年度事業計画 : 第 4 回 JPCA 岩手県支部学術集會を 2021 年 11/27 に web 開催することと決定しました(※ポスターは未完成です)。内容は企画 WG を中心に検討しますが、web を活用した形で多職種に参加してもらう方向を確認しました。具体的内容については、ポートフォリオなどの勉強会、著名な講師の講演会などの意見が出されました。また、新総合診療専門医 PG の PR も兼ねた形で学生や研修医向け情報発信の企画も検討することとし、東北ブロック支部の活動ともタイアップして事業を行うことを確認しました。なお、2021 年度末に幹事・役員改選予定です。
6. その他 : 広報 WG、企画 WG とも若手メンバーも積極的に入れて活性化を図る方針です。

上述の通り、11/27、完全 Web 開催にて第 4 回 JPCA 岩手県支部学術集會を開催いたします。東北支部の皆様へはおって改めて周知させていただきます。何卒よろしく願いいたします。(文責: 岩手県支部・副支部長坂本)

第 4 回日本プライマリ・ケア連合学会岩手県支部 研修会

日時 2021 年 11 月 27 日 (土) 14 時~17 時

会場 Zoom ミーティング

内容

第一部 14 時~15 時 20 分 (予定)

一般演題 応募期間 9 月 17 日~10 月 29 日

第二部 15 時 30 分~17 時 (予定)

「そうだったのか! ポートフォリオと研修指導」

講師 菅家 智史 福島県立医科大学 地域・家庭医療学講座 講師

福島県立医科大学 総合診療医センター

対象 日本プライマリ・ケア連合学会 会員

プライマリ・ケアや総合診療に関心のある医師・医療者・医学生・医療系学生・その他

参加費 無料

お申込み <https://forms.gle/N2uZgcyMCFwNikHh9>

お問合せ 岩手医科大学 救急・災害・総合医学講座 総合診療医学分野

〒020-8505 岩手県盛岡市内丸 19-1 TEL 019-613-6111 soushin@iwate-med.or.jp

福島県支部

2021 年 3 月に設立しました福島県支部では、2021 年 7 月 18 日 (日) に 2021 年度定期総会および「ふくし

ま プライマリ・ケア トーク」を開催しました。

○2021 年度定期総会

新型コロナウイルス感染の影響を踏まえて、Web 会議での開催としました。葛西龍樹支部長を議長に、2020 年度活動報告、2020 年度会計および会計監査報告、2021 年度活動計画、2021 年度予算案について審議を行い、承認されました。

○第 1 回 ふくしま プライマリ・ケア トーク

福島県支部の活動の一環として、福島県内を中心にプライマリ・ケアの現場で尽力されている方のお話をお聞きする「ふくしま プライマリ・ケア トーク」を開催しました。こちらも Web 会議で開催しています。今回は「高齢者クラスター対応からの教訓」と題し、福島県立南会津病院 佐竹 秀一 先生に、新型コロナウイルス感染症の高齢者施設クラスター対応にあたってのご経験と、そこから学ぶべき教訓についてお話しいただきました。医療従事者にとって理解しやすい感染管理の概念が介護スタッフにとって理解しにくい可能性があること、介護が人と人とのふれあいを大事にしている一方で、接触を可能な限り避けなければならない新型コロナウイルス感染症対策との両立の難しさ、施設の枠を超えての連携が必要なクラスター発生時の対応について、実際のご経験を踏まえてお話しいただきました。

ふくしま プライマリ・ケア トーク では、福島県支部の会員を対象とし、年数回の Web 講演会を開催し、福島県のプライマリ・ケアの向上を目指してまいります。